

(参考例) 保育者育成指標 (管理職)

キャリアステージ		副園長	園長
		園長の園経営ビジョンの下、園運営全体の推進・調整役として、アセスメントやファンリテーション等に関する力の向上を通じて管理・運営能力の伸長を図る	
保育者としての素養	社会人に求められる基礎的な能力	A 倫理観・法令遵守	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、指導できる。
	保育者としての使命と責任	B コミュニケーション能力 C 使命感と熱意	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう所属を代表して相手の意見も踏まえながら調整ができる。 園の経営を担う者としての自覚を深め、自ら学び続けるとともに、全園的視座に立った指導ができる。
教育・保育の実践	指導と評価の力	D 保育計画等の構想力	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及び自園の指導方針に基づき、育みたい資質能力を踏まえた環境の構成や活動の展開の視点で、自園や地域の特色に応じたカリキュラム編成ができるよう、情報を的確に把握・分析ができる。
		E 環境の構成と乳幼児への関わり	乳幼児の実態を踏まえ、園の教育目標の達成の視点から、環境の構成や活動の展開、乳幼児への関わりについて、指導助言ができる。
		F 乳幼児理解に基づいた評価と改善	適切な乳幼児理解と評価に基づき、環境構成や保育の改善を行うとともに、カリキュラムの改善のため、自園の課題を的確に把握・分析ができる。
	乳幼児理解と集団づくりの力	G 乳幼児理解	園の乳幼児を取り巻く環境や多様な個性について、園全体の状況を的確に把握・分析ができる。
		H 個と集団の援助	・関係機関等と連携する環境の整備と連携の推進し、園全体の状況を的確に把握・分析ができる。 ・小学校区程度の幼稚園・保育所・認定こども園等と小学校の円滑な接続のための組織作りや計画的な取組の推進できる。
	特別な配慮を必要とする幼児への対応	I 特別支援教育の実践	特別な配慮や支援が必要な乳幼児の教育的ニーズを把握できるとともに、自園の課題を的確に分析ができる。
	ICTや情報・教育データの利活用	J ICTや情報・教育データを活用した実践	ICTや情報・教育データを利活用し、改善すべき自園の課題を的確に把握・分析ができる。
	組織としての園を支えるマネジメント力	K 組織としての園の理解と園経営	・「園全体の組織的な取組」の推進に向け、園長の園経営についてのビジョンの共有や調整ができる。 ・職員の心理的安全性を確保した組織的な園経営ができる。
		L 人材育成	・園長の人材育成についてのビジョンの共有や調整ができる。 ・職員を公正・公平に評価できるとともに、職員の適性や能力を把握し、組織的な人材育成ができる。
		M 業務遂行・時間管理能力	・園全体の業務を適切に進行管理ができる。 ・職員が在園等時間の適正化に向けた自園の課題を的確に把握・分析し、職員に対して時間管理の徹底ができる。
N 危機管理		・危機の未然防止のため、園環境の改善ができる。 ・危機発生時の的確な対応について指導ができる。 ・危機の再発防止のため、取り組むべき課題を的確に把握・分析ができる。	
O 家庭、地域との連携子育て支援		・「地域とともある園」への転換と「協育」ネットワークの活用推進を図る体制の構築ができる。 ・地域の関係機関や家庭、地域と連携を適切に行いながら園経営ができるとともに、子育て支援を充実できる。	

※ アセスメント能力(様々なデータや園が置かれた内外環境に関する情報について、収集・整理・分析し共有する能力)
ファンリテーション能力(園内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する能力)